



ママ友のちょっと困ったミニトラブル

子育てをする中でママ友との付き合いの中で具体的にどうというわけではないんだけど、なんだかもやもやして嫌だなあという気持ちが残っている…「ちょっと困ったなあ」と思ったことはありませんか？きっとだれもが一度は通る「もやもやケース」について新山下二丁目保育所の園長先生にアドバイスをいただきました！トラブルが理想だけれど困ったなあと思った時にはぜひ参考にしてくださいね♪

1～4のすべてのケースについて、たいへん身近で日常的にあり得る場面です。
一つ一つに共感しながら読ませていただきました。

＊保育所子育てひろば私立常設園：新山下二丁目保育所＊
園庭開放や絵本貸出、育児相談など(月)～(金)専任スタッフがお待ちしています。



【ケース1：子どもが2歳になった頃、
子育て支援施設での出来事】



じっとしているのが苦手おはなし会もおとなしく聞けずに手遊びも邪魔してしまい、一部のママさんから「他の子はちゃんとおとなしくしているのに、悪影響」みたいなことを言われて、子育て支援施設に行かなくなりました。



このケースは支援施設での出来事です。せっかく参加されたのにお子さんにとっては馴染めず楽しめなかったのでしょうか。それで他の方から厳しい言い方をされてしまったので辛かったですね。そう落ち込まずに気持ちを切り替えて、お子さんの楽しめることを見つけてあげましょう。そして参加するときのマナーなどもお子さんにわかりやすく示せるといいと思います。支援施設では様々なメニューを用意していますので、お子さんにあったものを見つけて、懲りずに参加してください。

【ケース2：子どもが1歳の時、
習い事での出来事】

習い事の後に参加しているママ友と毎週ランチ会があり、強制ではないが、断りづらいことが続いていました。可能な限り参加したが、心から楽しめるものではなく、高価なお店にも行くので、モヤモヤが続きました。旦那の仕事の都合で引っ越しをし、習い事を辞めたので、関わりがなくなりました。

【ケース3：子どもが1歳の頃、
赤ちゃん学級等で仲良くなったママ友との出来事】

ママ友と3～5人のグループで会うことが多かったがその中の1人のママ友が私にだけ非友好的な感じで、私も接しづらく感じていました。グループで会うとその人もいるので、できれば会いたくないなと思いつつも他のママ友は貴重な存在で会いたかったので、グループには参加していました。しばらくして、自分からは連絡を取らないようにしたり、その人がいるときには参加しないように距離を取ったことで、ストレスは減りました。

☆ケース2 & 3のママの気持ち☆

母になって初めて子どもを通しての「ママ友」ができ、初めは仲良くなれることが楽しかったが、ママ友が増えるにつれ、いろんな価値観の人がいるなあ実感し、本当に仲良くなれる人は少ないと思いました。幼稚園や小学校などコミュニティが大きくなれば、うわべだけでも必要な付き合いはあると思うのですが今は、家庭中心の毎日なのだから、無理に多くの人と関わろうと思うことがなくなりました。

引っ越してからは、最初は知り合いがないことで焦りや孤独感を感じることも多かったのですが、今は子どももママも仲の良い、よく遊ぶ友だちができて、それで十分だと思うようになりました。もちろん、それ以外にも支援センターや公園であったママさんたちと話をしたりすることは大切だなあと思います。

改めて、大事なのは、自分も相手も気持ちよく付き合いを続けることだなあと思いました。



2、3のケースは「ママ友」の関係です。お子さんを通してたくさんのママ友ができますね。すべての方と気持ちよくお付き合いできるといいのですが、価値観の違いやどうしても苦手な方とは上手に距離をとって、無理しないようにすることです。そして誘われても気がすまないときは、上手に断ることが大事です。気がすまないのに誘われるままズルズル付き合っていると、疲れ果てて子育てにも悪影響が出てしまいます。断って途切れてしまうようならそれまでの関係と割り切ってしまうでしょう。

くれぐれも無理をしないで目の前のわが子のかわいい姿を共感したり、子育ての相談をしあったりできる方と必ず巡り合えますから。要はママのその場その場での判断と決断と実行力です。

【ケース4：子どもが2歳前の頃、帰省中の病院の待合室での出来事】

1歳くらいの男の子が近寄ってきて、おもちゃの取り合いになり、男の子が子どもの肩を噛んで内出血しました。先制攻撃に近い感じであっという間の出来事でした。大泣きした子どもと傷口を見て私が動揺してしまい、男の子から引き離し「もうすぐ順番が来るから、一緒に傷を先生に診てもらおうね」と言うしかできませんでした。私の言葉を聞いて、相手の母親は軽く男の子を叱り、子どもにはそっけなく「ごめんなさいね」と言うだけでした。その後すぐに診察してもらい、薬を塗っただけで終わりました。子どもは帰り際に男の子の兄にバイバイと手を振っていましたが、母親からの謝罪は一切なく、モヤモヤだけが残りました。

兄弟と遊ぶ男の子の様子を見て、ちょっと危ないなと思っていたのに防ぐことができなかったという自己嫌悪と、今後会うこともない母親と話し合うことをしなかったということが、まだ完全に消えていない傷を見る度にモヤモヤしています。



このケースは噛みつきですが、内出血するほど噛まれたとなると大泣きされたことでしょうか。その時、相手の子のお母さんは気づかなかったのでしょうか…？もしそうであれば、噛まれてしまった場所を見ていただきながら、状況を穏やかに伝えておけると良かったと思います。相手はどんな態度をとるかわかりませんが、親として子どもの行動に目を配れなかったことに対して、ケガを負わせてしまったことに対して、言葉や態度での謝罪がほしいと思います。子どもがやってしまったことに対して親が責任を取るのは当たり前前のことです。ましてや子どもが幼いのですからなおさらです。



《さつま芋ときのこのグラタン》

これからが旬のさつま芋ときのこを使ったグラタンです。ホワイトソースを米粉で作るので簡単ヘルシーです☆
30分で出来るお手軽メニューです(*^^*)

＜材料＞大人2人 子供1人分くらい

- | | | | |
|-----------------|-------------|------------|-------------|
| ●さつま芋 小1本 | ●鶏肉 150g | ●たまねぎ 1/2個 | ●しめじ 1/2パック |
| ●ブロッコリー 1/2株 | ●水 100cc | ●サラダ油 適量 | |
| ○米粉 大1.5 | ○牛乳 200cc | | |
| ●コンソメ、塩、こしょう 適量 | ●ミックスチーズ 適量 | | |



＜作り方＞

- ① 下準備…それぞれ食べやすい大きさに切る。ブロッコリーはゆでておく。
米粉に牛乳を少しづつ加え、ダマにならないように混ぜておく。
- ② 鶏肉とたまねぎを少量のサラダ油で炒め、たまねぎがしんなりしたら水とコンソメを加えて煮る。
- ③ 鶏肉に火が通ったらさつま芋としめじを入れ、柔らかくなるまで煮る。
- ④ いったん火を止めて米粉と牛乳を加える。混ぜながら火にかけ、とろみがつくまで煮る。
- ⑤ 塩、こしょうで味を調える。
- ⑥ グラタン皿によそい、ブロッコリーとチーズをのせて焦げめがつくまでオーブンで焼く。

☆★アレンジ★★

牛乳を増やし緩くすればクリームシチューに、牛乳の代わりに豆乳をつかえばよりヘルシーになります♪



編集後記



のんびりんご利用者ママの協力で発行しています

うちの息子は電車大好きな鉄男です。とくに新幹線が好きでなかなかのオタクっぷりです。そんな息子に付き合っているとだんだん私も鉄子に。こまちとやまびこの連結を生で見たーい！！

(ボランティア記者：ぶんちゃんママ)

1歳10か月になった娘も言葉が急に出てきて会話らしくなることも。今までは妖精!? モンスター!? と過ごしていたと思っていたのに、急に人間だった!? と意識するように(笑) 私を呼ぶ時は『おいで』って言われます。

(ボランティア記者：773ママ)

帰省した時、もう中学生になる娘をもつ地元の友人が「小さい時にもっと抱っこしてあげれば良かった。だっこって来てくれるのは今だけだよ」と話してくれて、はっとしました。2歳8ヶ月、イヤイヤ期でイライラしていたけど、こんなにずーっと一緒に過ごせるのもあと少し…毎日いっぱい抱きしめよう。今しかない毎日を大切にしよう。

(ボランティア記者：かずみ)

食事で娘とシェアする機会が増え、食事の準備がかなり楽になりました。それまでは離乳食や幼児食を作る手間であぐらで済ませ、親の食事はおろそかになっていましたが、今は食事を楽しんで一緒に食べられるようになりました。しかし、同じおかずでも私が食べているほうが良い！と駄々をこねることがあるのでそれはそれで大変ですが…

(ボランティア記者：ゆき)